

### 1. お客さま本位の徹底

- ◇ 研修等を通じて、役職員に対して「行動規範」、および「MUFG フィデューシャリー・デューティ基本方針」に基づく判断・行動の徹底を図っています。また、お客さまの最善の利益を図るため、お客さまの声を踏まえた各種施策を実施することで、お客さまの満足度向上に努めています。

### 2. お客さまのニーズをとらえた商品の開発・提供

- ◇ 市場動向やお客さまの運用ニーズを踏まえた商品を開発・提供しています。
- ◇ アクティブ運用機関として培ったノウハウ活用および海外運用機関の商品導入等により、商品ラインアップを拡充しています。

### 3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

- ◇ お客さまの投資判断に資するよう、手数料、リスク等の重要情報の分かり易い提供に努めています。

### 5. お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化

#### (1) お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化

- ◇ お客さまの利益最大化を目指したアクティブ運用機関としてのスチュワードシップ責任を果たすべく取り組んでいます。
- ◇ 運用力の強化、適切なリスク管理の実施等による商品の品質向上に努めています。
- ◇ 受託者責任の観点より、受託運用部署と管理部署の双方におけるモニタリングを通じて、運用を委託された資産について最良執行に努めています。

#### (2) 運用業務における独立性・透明性の確保

- ◇ 投資運用業務における利益相反の防止ならびに適切な管理を実施し、運用機関としての適切なガバナンス態勢を構築しています。

### 9. プロフェッショナリズムの発揮

- ◇ お客さまの最善の利益を追求するために、報酬・業績評価体系等を整備し、運用人材の育成・充実に継続的に実施しています。

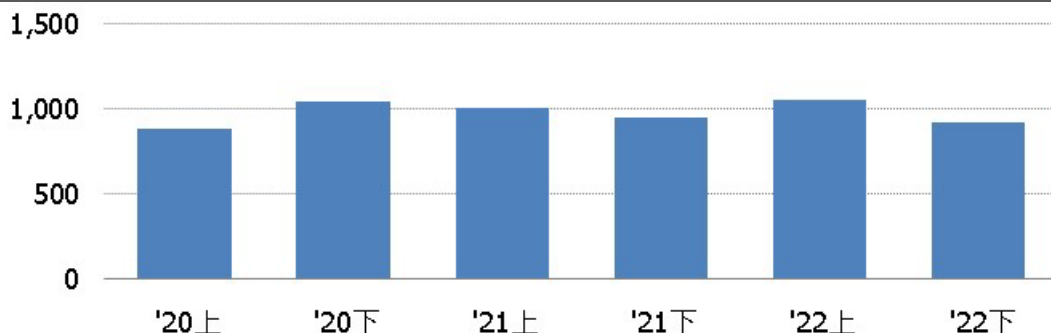
## 【取組状況】

商品・サービスの更なる向上に向けた取り組みをはじめ、お客さま本位の姿勢の定着度合いを定期的に公表していくとともに、随時見直してまいります。

### スチュワードシップ活動の高度化

- スチュワードシップ責任を果たすための有力な手段として、投資先企業との対話(エンゲージメント)に積極的に取り組んでおり、2022年4月～2023年3月までの1年間において、企業との個別対話を1965件行っております。
- 引き続き、お客さまの利益最大化を目的としたスチュワードシップ活動の高度化を図ってまいります。

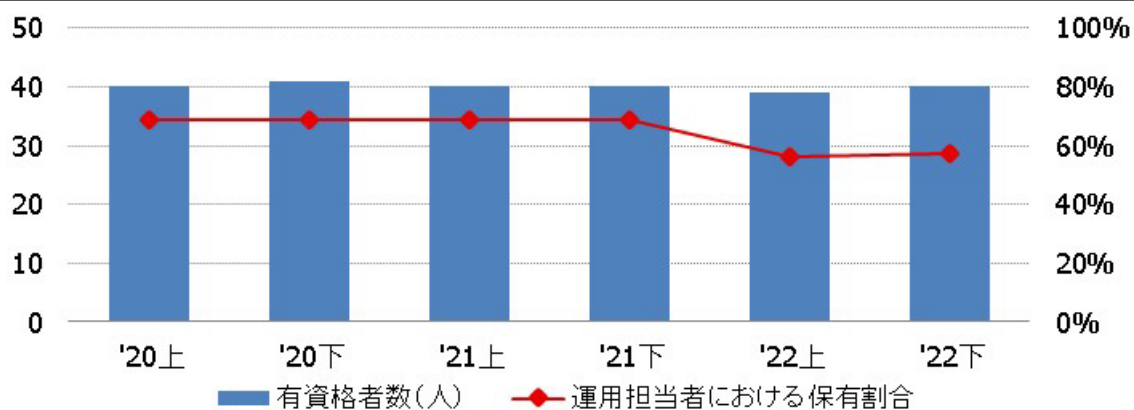
【図 1】投資先企業との個別対話の件数(件)



専門性の向上

- 証券アナリスト等、資産運用業務に関連する資格取得を通じた専門性の維持に努めており、引き続き、運用者として自らのスキルを高めてまいります。

【図 2】証券アナリスト資格保有者数及び運用部署における証券アナリスト資格取得率



お客様のニーズをとらえた商品の開発・提供等の取組み結果としての運用資産残高

- 預かり資産残高は、厚生年金基金の制度変更等に伴うご資金解約の一方で、新たな受託資金も継続的に預かりしており、全体として概ね横ばいで推移しております。
- お客様の多様なニーズに応える商品の開発・提供に努め、お客様に最善の投資成果をご提供することをめざしています。

【図 3】お客様からお預かりしている運用資産残高(億円)

